

理 科 (3 学 年)

週時間数 4 時間

1 学習の手引き

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート ・ワーク 	持 ち 物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート (A4) ・ワーク (本体・解答・解説)
学習の 進め方	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題の確認と解決を通して以下の力を養う。 ①実験を通して技能を高め、結果から考察を行い思考力を高める。 ②問題演習を通して思考力を高める。また、作図やグラフの作成を通して技能を高める。 ③講義による知識の確認や、授業の終わりにまとめを行い、知識の定着をはかる。 	
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の課題で終わらなかった部分を終わらせる。 ・テスト勉強 	

2 学習の内容 1分野→① 2分野→②

学期	月	題材 (学習する時間)	学習内容	備考 (評価のもの)	
前期	4月	① 力の合成と分解	・力の合成、分解	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で提示された課題 ・定期テスト ・ノート ・ワーク 	
	5月	② 生物の成長と細胞	・生物の成長と細胞、子孫の残し方		
	6月	① 水中の物体に加わる力	・浮力、水圧		
	7月	② 遺伝の規則性と遺伝子	・遺伝の規則性、遺伝子		
			＜夏休み＞		
	9月	① 物体の運動	・力と運動、作用と反作用		
後期	10月	② 生物の種類の多様性と進化	・進化の証拠、生物の進化と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で提示された課題 ・定期テスト ・ノート ・ワーク 	
		① 仕事とエネルギー	・仕事、エネルギー、力学的エネルギーの保存、熱エネルギーとその利用		
	11月	② 生物のつながり	・生物どうしのつり合い		
		① 水溶液とイオン	・電流が流れる水溶液、原子とイオン		
	12月	② 自然界を循環する物質	・物質の循環		
		① 化学変化と電池	・イオンへのなりやすさ、電池とイオン		
		＜冬休み＞			
1月	2月	② 天体の動き	・太陽・星・天体の動き		
		① 酸、アルカリとイオン	・いろいろな電池、中和と塩		
	3月	② 月と惑星の運動	・月と惑星の運動の見え方		
		① 自然環境と人間	・自然環境の変化		
2月	② 宇宙の中の地球	・銀河系と宇宙のつながり			
	① 科学技術と人間	・暮らしを支える科学技術			

3 評価の観点と内容・方法

観 点	内 容	方 法
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期テストや、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
思考・判断 ・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	定期テストや自由研究、授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する
主体的に学 習に取り組 む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く試行錯誤して、自らの学習を調整しながら、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期テストや自由研究、活動時の取り組みや授業中で提示された課題を総合的に判断し、評価する